

2018年平和旬間 テーマ「地上に平和を」 メッセージ「過去をふり返ることは、将来に対する責任を担うことです。」

場 所	水戸教会	つくば教会	鹿島教会	古河教会	常総教会	前橋教会	高崎教会	群馬県東ブロック	東松山教会	浦和教会	埼玉県西ブロック	鹿沼教会
開催日 時間	8月15日 (水) 19時	8月12日 (日) 12時	8月4日 (土) 10時	8月5日 (日) 9時半	8月5日 英語13時 ポルトガル 語18時 8月12日 スペイン語 18時	8月11日 (土) 10時～ 14時	8月11日 (土) 13時	8月5日(日)	8月4日 (土) 14時	8月5日 (日) 10時		8月4日 (土) 13時 ～16時
テーマ	聖母マリアの取り次ぎによって平和がおとずれるように	戦争体験を語り継ぐ	平和を考える	ミサの中で平和祈願	世界の平和は家庭から始まる	知り合うことから平和を	地上に平和を	それぞれの小教区ミサの中で平和を祈る	もみの木撤収後の被災者・被災地のその後		それぞれの小教区で行う	
内 容	・聖母被昇天「平和祈願」ミサ ・ミサ後、教会前広場でロザリオを唱えながら全員でろうそく行列を行う。最後に聖体顕示式	・「すいとん」を食べる会 ・戦争体験のお話し	・信徒による信仰の証 ・平和に関するDVD鑑賞 ・平和祈願ミサ	・平和祈願ミサ（共同司式：谷司教・鈴木神父） ・谷大二司教のおはなし	・ミサの中で世界の平和のための歌や共同祈願をする。	・多国籍信徒の日本での体験を分かち合う ・みことばの祭儀	・平和に関するDVD鑑賞 ・分かち合い ・15時からミサ	※桐生：市民団体主催「弁護士による憲法漫談の集い」に参加 ※太田：9時半からのミサ後DVD鑑賞 ※伊勢崎：8月9日 夕方ベトナムの人々の日本での体験を分かち合う	・支援活動の現状について（前もみの木ベース長の話） ・分かち合い	・ミサ後、平和に関するDVD鑑賞 ・分かち合い（教区事務所2階）	※所沢：夏季キャンプ中、平和ミサ、分かち合い（8/12） ※7/9川越「諸宗教者の平和の祈りと集い」 ※上福岡映画観賞会	・講演：塚田保美氏（郷土史家）「戦時中、沖縄県民を疎開させた荒井退造の功績について」 ・平和祈願ミサ

日本のカトリック教会は、毎年8月6日から15日までを平和旬間としています。1981年にヨハネ・パウロ二世前教皇が来日し、広島と長崎で平和のためのアピールを出されたことを機にこの平和旬間が始まりました。この10日間はカトリック信者にとって、特に平和について学び、平和のために祈り、行動する期間です。